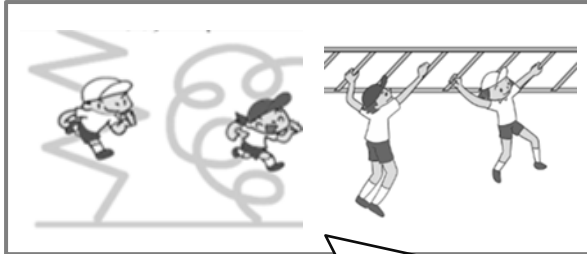


## 2 感染拡大防止対策を踏まえた授業実践例

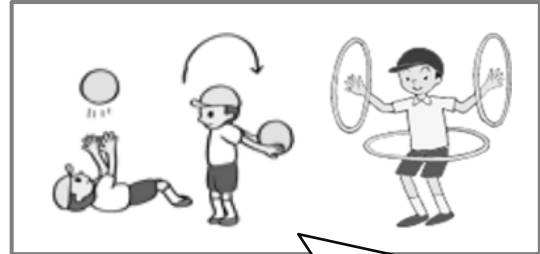
前述1に示しました感染拡大防止対策を踏まえた体育授業の実践例等を紹介します。

各学校の実態（運動場や体育館、更衣室等の環境，児童数，教材・教具の状況などを総合的に踏まえた実態）に応じ，下記実践例等を参考に，安全・安心な授業実施をお願いします。

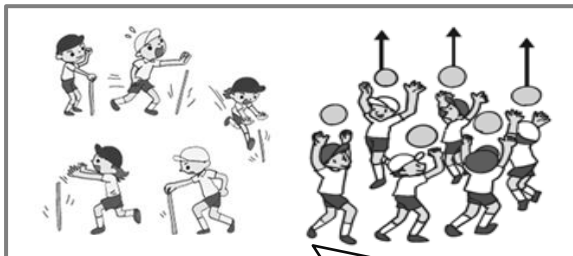
### (1) 体づくり運動系実践例



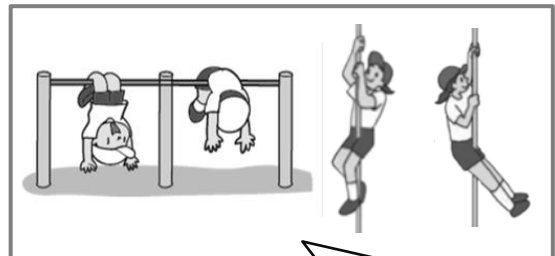
個人で動きを高める運動などについては，活動する児童（待機中を含めて）同士の距離を2m程度保って行うことが考えられます。



ボールなど用具を使う場合は，用具に番号などを付け，その時間は一人の児童が使用するなどの約束をつくること等が考えられます。

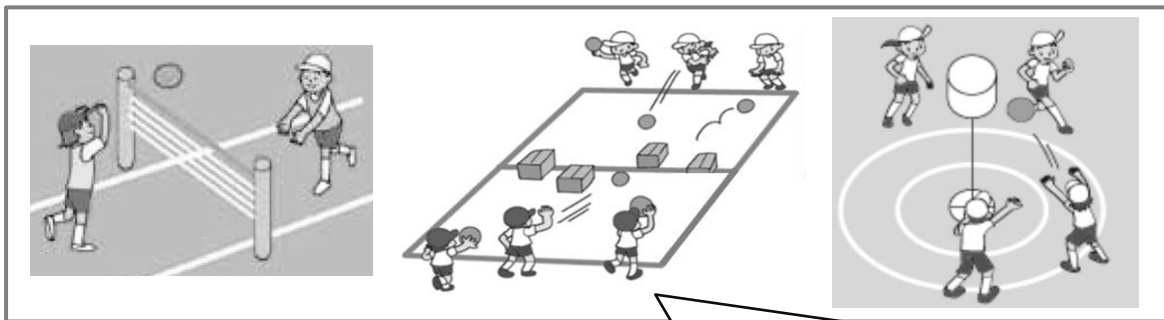


グループで行う動きを高める運動などについては，活動する児童が距離を保っても活動できるような行い方を工夫することが考えられます。

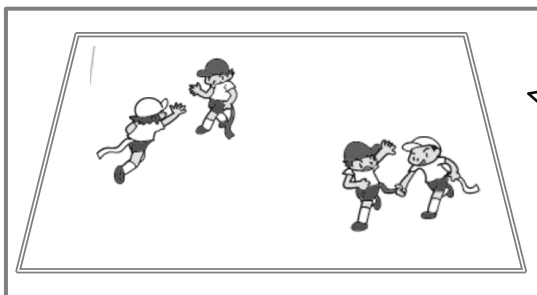


固定施設等を使用する場合には，使用している児童の間隔を空ける，使用前後は手洗いをするなどの対策が考えられます。

### (2) ゲーム・ボール運動実践例

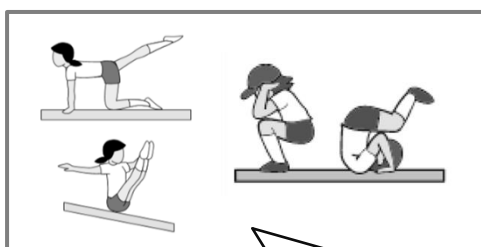


密集して行うことが予想されるゲームやボール運動では，2人組パスゲームを行ったり，少人数（2対2など）で行ったり，児童が距離を保ってできる活動を取り入れたりすることが考えられます。

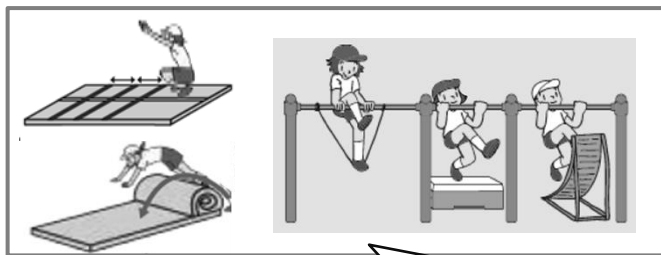


鬼遊びなどでは，ボディタッチではなくタグなどをつかむ活動に変更したり，コートをもめに作り，少人数で活動する場を複数設定したりして，できる限り密集する場面を少なくする工夫などが考えられます。

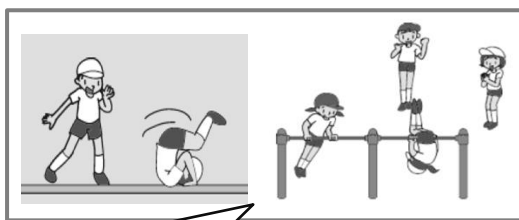
### (3) 器械運動系実践例



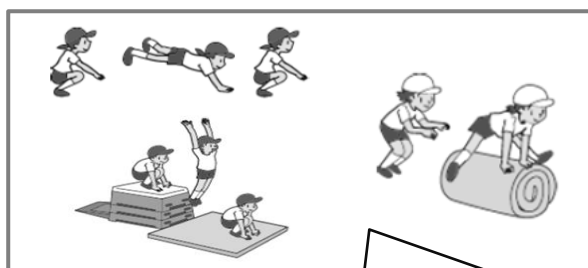
マット運動等では、バランス系の技のバリエーションを増やして数多く取り組ませたり、個人技能を更に高めたりする活動を多く取り入れたりすることが考えられます。



友達や教師が補助に入る代わりに、マットに目安のラインを付けたり、様々な教具等を補助具代わりに活用したりして活動することが考えられます。



友達の動きに対する気付きや助言を行う場合には、少し離れた場所から観察したり、言葉の代わりに学習カード等を活用したりすることが考えられます。



跳び箱運動などでは、体育館内で分散して活動するために多くの跳び箱の場を確保することなどが必要ですが、丸めたマットを活用したり、床やマットの上で動きの確認をしたりする活動などを取り入れる工夫が考えられます。

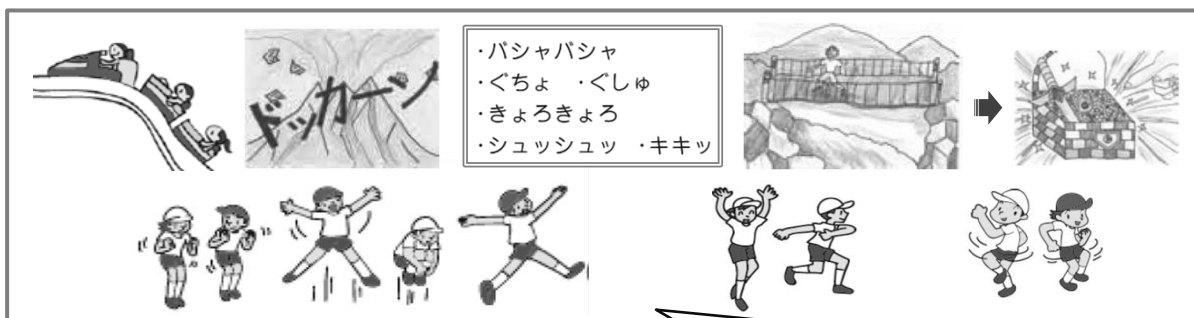
### (4) 表現運動系実践例



児童同士や児童と教師とで行う表現活動などについては、距離を保って活動したり、活動する相手の1人(例えば教師)がステージ上に立ち、その動きの真似をする活動をしたりすることが考えられます。



声を出さずに踊ったりして楽しむために、様々なジャンルの音楽(例:掛け声が入った音楽等)を流して、音に合わせて動きをつくったり、タンバリンなどの楽器を活用したりする工夫が考えられます。



例えばいろいろな表現の仕方について考え、動きをつくっていく活動を行う際に、児童が表現方法を考えるために、思い描くようなイラストやイメージする言葉などを作成して提示し、それに合わせて様々な動きを工夫していく活動などが考えられます。